

学ぼう体験

自衛隊にてロープ結び体験

十条台小学校
学区にある(自衛隊十条駐屯地)を訪問。大地震等の災害被災した地域で、実際に活用する有線電話を使ってみるという体験活動。自衛隊が人々のために活躍していることなど、多くを学びました。

防災訓練

滝野川第四小学校
滝野川消防署と第六分団の消防団の皆さまが、消火器の使い方などを教えてくださいました。子どもたちは消防服や防火服も興味津々で着ていました。消防車の運転席にも座らせてもらい大喜びでした。

つなごう地域

オープンスクールボランティア

田端中学校
サブファミリー校と地域の交流が目的。地元専門家の方々による講座の中から1講座を選び2回にわたって生徒と大人が受講。

わかばDE朝ごはん

としま蒼葉小学校
十数年続いている行事です。年に数回行われ、教員・地域・PTAとともに活動しています。参加人数は各回70~90人です。

学校支援ボランティア

ふむふむ 参考にできる!

ステキな 活動だね!

いろいろ活動紹介

土曜学校公開講座

八幡小学校
土曜公開授業として、アテナパラリンピック、マラソン金メダリストの高橋勇志さんをお呼びしました。児童、先生、保護者の方はスピーチで大変感激しました。

町探検

滝野川小学校
児童、保護者、21名で町探検。普段住む霜降銀座商店街の様子を知るといことで、グループに分かれて各お店にインタビュー。気になることをたくさん質問できて皆大満足、興味あるお店の発見もあったようです。年1回。

たのしみ文化

邦楽指導

飛鳥中学校
邦楽に親しんでもらうために、14年前位から琴、三味線の先生に指導をお願いしています。練習の成果は、3月の保護者会で発表します。

バンブーダンス

王子第五小学校
『早朝あそび』の1コマ。学校と地域で連携し、長年続いているこの活動を通して、子どもたちの心と体の成長を見守っています。

広げよう花壇

チュリップ球根植え

飛鳥中学校
毎年1年生全員に、チュリップの球根を植えてもらい、咲いたら入学式の花道を彩り、新入生を迎えます。8年前から続いている伝統的な行事です。

学校植栽ボランティア

滝野川紅葉中学校
立派な新校舎ができたものの植え込みがさみしいとのことで、年に2~3回お花を植えることになりました。

着物の着付け体験

赤羽岩淵中学校
伝統文化を学ぶという取り組みで、希望者8名が自分で着られるように、浴衣の着付けを学びました。

滝野川紅葉中学校

滝野川紅葉中学校
生徒約100名、保護者、町会スタッフ、先生方も一緒に神輿で汗を流します。地域の未来を担う生徒たちの姿は頼もしいです。

花いっぱい活動

赤羽岩淵中学校
今年から始めた活動で、学校と地域(商店街)を彩るため、生徒と一緒にプランターにお花を植えました。

ガーデニング

なでしこ小学校
「仮校舎の、花壇がない校庭に彩りを」と、保護者と地域の方の6名で、季節ごとに花を植えています。

エール

第3号 FEBRUARY, 2018

北区スクールコーディネーター通信

最初の一步をふみだそう! 誰もができるボランティア



わーい!! 冒険だ! みんな楽しそうね!

荒川「北区・子よもの水辺」でのかいり風景。横一列に並んで進み、追い込み漁を行います。水底の泥に足を取られ「抜けない!」「冷たい!」と言いつながら大はしゃぎです。(岩淵小学校)

学校を支える地域の応援力

北区スクールコーディネーター連絡協議会 代表 宮川 淳子

北区では、平成18年度より学校支援ボランティア活動推進事業として、学校と地域の連絡・調整役であるスクールコーディネーターが配置されました。現在は、区内全ての区立小・中学校で実施となり活動をしています。

学校からの要望を受けて、ゲストティーチャー、ボランティア等との橋渡し役を担います。授業支援・行事支援・安全指導・環境整備といった多方面の活動を支え、実現しています。それらの教育活動には、地域の方々にボランティアとしてご協力頂き、子どもたちの学びを応援して頂いております。

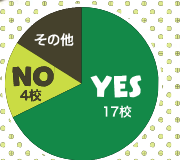
広報誌「エール」は、学校と学校の活動を支えるボランティアと、そこで成長する子どもたちを「応援」したいという思いから作られています。

学校を支えていくのは地域の応援力です。次世代を担う子どもたちを育てる学校支援の輪が地域に広がることで、学校、子どもたち、関わる地域の人々がそれぞれにハッピーになれる、そんな循環がうまれるとそれは何と大きな喜びでしょう。

地域ですでに活動されている方も、これから地域と関わりたいと思っている方にも、「エール」が良い機会となりますことを願っております。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

特集 みんな大好き 図書ボランティア

図書ボランティアの活動はありますか？



提出24校(小学校18校/中学校6校) 図書ボランティアに関するアンケートより



岩瀬小学校
月2回(低学年/高学年)各クラスにて絵本の読み聞かせを行います。報告会も開かれ、メンバー間で情報交換をしています。



西が丘小学校
図書ボランティア、月3回、読み聞かせ・図書室ディスプレイ変更・書架整理など保護者ボランティアが和気あいあいと活動しています。



飛鳥中学校
《春の研修風景》初めての方でも参加出来るように、学校図書館指導員の方から本の貸出しや返却作業、ブック架掛け、修理などを学びました。



滝野川紅葉中学校
図書室は教室とは違う落ち着いた居場所にとの思いから、四季に合わせた装飾をしています。



雨十条小学校
毎週木曜日の朝読書の時間に、主に1年生への読み聞かせを行っています。子どもたちは毎週楽しみにしてくれています。活動人数は13名です。

なでしこ小学校 インタビュー

2017.12.8 Fri

なでしこ小学校を訪れ、図書ボランティアの皆さんにお話を聞きました。

活動の内容

◆年2回の「読書週間」という活動をしています。各学年・各クラス毎に授業の1時間(45分)をいただいて、春は3日間、秋は2日間で集中的に全クラスを回ります。

図書ボランティアの紹介や自己紹介をした後、1冊の本を読みます。ナレーター、主人公など役割を分担して、声色を変えるわけではないのですが、何人かで1冊を読んでもらう班に分かれて作業をします。春(6月)は折り紙、秋(10月)は切り紙。今年の秋はちょうど31日だったのでハロウィンのお話を読み、切り紙でカボチャを作ったりクイズをしたりしました。

10分前には、タイトルを見せる程度ですが、テーマにちなんだ学校図書を紹介して、最後にもう1冊、全学年共通の本を一人が読み聞かせるというプログラムです。読み聞かせだけでなく作業もしながら、本を通した子どもたちとの交流のような時間になっています。

普段の「お話し会」は、木曜日のお昼休みに図書室で読み聞かせをしています。

選書について

◆「読書週間」では、例年引き継いでいる絵本は基本的に固定で、反応を見ながら「今年を変えてみようか」と話し合います。「糸」や「粘土」など作業素材から発想する場合もあります。例えば6年生は「くもの糸」を続けていましたが、中学校でも読むし、あえて難しいのじゃなくてもいいか、

となつて、でも「糸」工作は残したいということから「綱渡りの男」に変更しました。

共通本は、6月は「雨」、10月は「遠足」と季節を踏まえて選んでいましたが、ネタ切れになってきたので、あまり季節にとらわれず、昔話を読んでみたら、反応が良かったので続けています。

「お話し会」の読み聞かせは各自が読みたものを2冊、図書館で借りてきます。読んだ本はノートに記録して共有します。

人数について

◆「読書週間」は、全体が30人くらいでシフトを組んでいます。一度に集まれるのは5〜7人程度ですが、「これだけでも出たい」と仕事を1時間遅らせて参加される方もいます。

木曜の「お話し会」の日は、お仕事があって、二人しか来れなかつたりとか、同じ人が読むのが続いたりもします。せつかく読める機会だし、聞きたい子だけが集まるので面白いと思うのですが、なかなか。

参加のきっかけ

♥子どもが幼稚園と一緒に来たことから誘ってもらいました。絵本も個人的に好きだったので、同じタイミングで入学するママ友も誘って始めました。

◆公園遊びの時、一つ学年が上のお母さんが「明日、図書ボランティアなんだよね」って話をしていたので、教えてもらいました。次の年入学だったので、1年生になったらやりたいと思っていました。

◆同じマンションのお友達に誘われて。子どもが1年生の時に「〇ちゃんのお母さんが来てたよ」というのは聞いていたけ



掲示板的飾り付けは色紙を切り貼り、全て手作り。



なでしこ小学校 図書ボランティアの皆さん

ど、その時は「へ〜」と思ったくらいで。その後、誘われて初めて知った感じです。

◆保護者宛のお手紙もありますが、ほぼ応募はなくて、ここ数年はほとんど口コミですね。やってくれそうな方に声をかけるなど、直接きっかけがないとあまり意識できないかもしれない。でも全員にチャンスがあることなので、お手紙も必要だとは思っています。

◆同じ学年のママさんに「読みに行ったんだって？ウチの子が言ってたよ」とか「ウチは下の子が入学してから」とか、興味のある方もいらっしゃるの、お子さんが「お母さんたちが読みに来たよ」って話すところからの広がりもあるのかなって感じます。

楽しいこと・嬉しいこと

♥本を選びながら子どもたちの反応を想像する時間も楽しい。実際に読んでみて反応がイマイチだったり、2冊のうちこっちの方がいいんだ！という発見も。低学年が前にいて、後ろの方で高学年が自分でも読んでくれるの、という様子も新鮮です。

◆1年生は親も不安なので、こうやって先輩ママさんと聞かれるのはすごく貴重

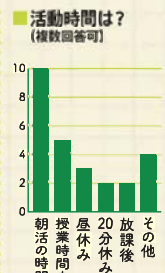
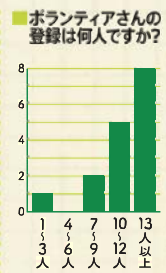


子どもたちからの お礼のお手紙集。

図書ボランティアに関するアンケート 集計結果

度々のご協力 本当におりがたうございました。

平成29年度広報委員会



- 疑問に思うこと・困っていること・大変なことなど
- 毎年毎年、思うほどの人数が確保できるかどうか。
 - 子どもたちが落ち着かない時、どこまで注意していいか考えてしまう。
 - ボランティア募集してもなかなか人数が増えない。
 - 学校司書さんが入ってくると、もっとも図書室が良くなっていくと思える。
 - 低学年の保護者の参加が少ないので数年後が心配。
 - 高学年になると読み聞かせの選書が難しくなる。
 - 活動参加を強制できず、一部の人に負担がかかる。
 - 毎日の長時間帯なので、ボランティアを確保するのが苦労する。

- 楽しいこと・嬉しいこと・子どもたちの声など
- 朝の読み聞かせの際に、子どもたちの様子やクラスの様子わかる。
 - 他学年の保護者との交流。
 - 活動を通じて、図書室の蔵書を隈なく見られる事、本を楽しく読んでくれてるのを感じる。
 - 先輩のお母様から学校のことも聞ける、相談にのってもらえる。
 - お母さん同士の交流が少しずつ増えている。
 - 学校以外の場所で行った時に、「この間読み聞かせ楽しかった」と声をかけてくれる。
 - 子どもたちがキラキラした目で聞いている。

- 子どもたちから感謝のお手紙をもらえた。
- 先生の授業とは違う形で子どもたちの成長や向上に関われる。
- 装飾のぬりえ、オススメ本など図書委員さんと話をしています。
- 知り合いが増える。違う学年の情報が入る。
- 図書室の開いている時間が増えた。
- 地域の方、PTA O Bを中心に活動していた。
- 楽しい、興味がもてる！(子ども)
- 休み時間に借りられるのが嬉しい。(子ども)

インタビューを終えて

● 編集後記 ●

学校との連携がしっかり取れていることが、ボランティアさんの生き生きとした活躍の理由だと感じました。活動は常に現役世代がしっかりと引き継ぐという意識にも感銘を受け、学校の要と活動の充実感とを両立させることの大切さを学びました。この紙面を少しでも皆さまの参考やヒントとして、子どもたちの新しい可能性につなげていただけることを願います。

平成29年度広報委員会一同